

慶應義塾大学ビジネス・スクール

株式会社ドコイコ(2006)： 地域発ITベンチャーの挑戦(2)¹

5

1. 地方発ベンチャーの担い手として

1-1 ドコイコを中心「ドコイコイズム」

株式会社ドコイコは、地域を盛り上げることを目標に、地域情報ウェブサービスを提供している高松市内のベンチャー企業である。彼らが最も大事にしているのは、地域を盛り上げるという目標、そして自分たちの個性だ。有限会社として、設立をしてから、約1年が過ぎようとしていた。

10

「有限会社ドコイコ²という名前はついてますけど、僕らはバンドだと思ってます。」

15

ドコイコの社長である河野大輔氏のこの言葉が、今のドコイコを最も的確に現している。バンドとは、演奏で聴く人たちを楽しませる存在であり、ドラム、ギター、ベース、ボーカルというそれぞれの役割が個性を発揮し、かつ調和しているものだ。そして、曲を作るときに最も大事なのが、自分たちの感性である。

20

「地域を盛り上げる」「メンバーの個性」「自分たちの感性」、この3つのキーワードは、ドコイコを語る上で重要なキーワードであり、「ドコイコイズム」の根源であるといえる。このドコイコイズムは、どのようなサービスを生み出していくのか。ドコイコという組織としての成長に、どのような影響を及ぼしていくのだろうか。

25

¹ このケースは、香川大学経済学部 山田仁一郎・草間一人によって、公開資料ならびにインタビューに基づき、クラス討議の資料として作成されたものであり、経営管理上の適否を例示するものではない。
UPTT² 「有限会社ドコイコ：香川を変えたいベンチャーの挑戦」より。創業当時は有限会社だった。

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、ケースの複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクール（〒223-8523 神奈川県横浜市港北区日吉本町2丁目1番1号、電話045-564-2444、e-mail case@kbs.keio.ac.jp）。また、ケースの注文は <http://www.kbs.keio.ac.jp/case/index.html>。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、本ケースのいかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またはいかなる方法（電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない）による伝送は、これを禁ずる。

30